



きらめき 串木野っ子

〔校訓〕
よく考え、
明るくすなおで、
がんばる子

令和7年度6月号
串木野小学校学校便り
令和7年6月24日(火)

これはいいこと？これはわるいこと？

校長 牧之瀬 陽一

梅雨に入り、雨の降る日が続いていますが、「心は晴れ晴れ」でいきたいものです。

さて、今年度も「にこにこ・きらめき宣言～いじめ・不登校のない学校をめざして」をだし、その中の取組として、「相手の気持ちを考えて必ずあいさつを返す」を誓って、発達段階に応じて指導しているところであります。その実際につきましても、毎朝私が正門に立って「にこにこ笑顔で」を意識しながら、子どもたちを迎えております。とてもうれしいことに年々、日に日にしっかりあいさつできる子どもが増えてきており、大きな声で、笑顔で、しかも立ち止まってできるようになっております。そういう子どもには私から思わず、「えらい！」と言って、ほめております。校長の私にとっても楽しみの時間でありまして、なかにはハイタッチをする子、グータッチをする子、そして私と同じ広島カープ(プロ野球)のファンの子とは勝敗を確認し合うなど至福のひとつです。こういった子どもたちの頑張っている様子が地域の方々にも伝わったのか、ある地域の男性の方が「校長先生、最近の串小の子はしっかりあいさつを返してくれて、気持ちがよかど～」とか「子どもたちが地域行事に参加してくれてうれしかど～」とか聞くことがあり、うれしくなります。これは、御家庭でも指導やしつけられているのだなあと、感謝いたします。こういった行動がさらに学校全体、地域に広がるといいなと感じているところです。



ただ、逆にお叱りや苦情の電話をいただくことがあります。内容としては、「玄関のブザーを鳴らして立ち去る」「庭に入ってくる」等々です。「いいことか、悪いことか」考えればわかることです。ちょっとぐらいいはありません。された人の気持ちを考えればできないはず。こういったことについて全校朝会でも私から全校児童に3つ話をしました。内容は以下の通りです。

- いいことか、悪いことか判断できる人になってほしい。
- 自分も大切、他の人も大切にできる人になってほしい。(人権月間にちなんで)
- 安全に校内及び校外で過ごしてほしい。(梅雨の時期を迎えているため)

特に上の二つについては、是非非常に意識して行動してほしいと思います。きっと「串小の子」ならわかって行動にうつしてくれると信じています。ほんの一部なのです。ほとんどの人がしっかりできています。自分事、自分たち事として捉えてくれることを期待しています。この点について、学校では繰り返し指導していきます。是非御家庭でも一緒に考え、語っていただいて未来ある子どもの健全育成に一緒に取り組んでいただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

～家庭教育について～

私も子を持つ一人の親として、「これでいいのかな？これでよかったのかな？」と自問自答しているところですが、親としての立場に関する新聞の投稿がありましたので紹介します。

南日本新聞 投稿欄より 民宿経営 MSさん(79) 志布志市

家庭は学校そのものです。親は先生であり、家庭教育の専門家であるべきです。親は子どもが人生で最初に出会う偉大な教師なのです。子どもの人格形成において、親の影響は非常に大きいです。親の生き方や態度が子どもにとって最も重要な材料となります。子どもが親のまねをします。親を見習います。親の背中を見て育ちます。親に似た亀の子、この親にしてこの子あり、カエルの子はカエルと言います。「ああしろ」「こうしろ」と子どもに命令するのではなく、親が自ら努力する姿勢を示すことが大切です。子どもは言葉より親の行動から多くを学びます。よき父親と母親は何十人も教師に値します。性格や情操、是非の判断基準など倫理の基本は、親が日常の指導をとおして教え導くべきだと考えます。子どもを育てる親になりたいものです。

読みながら、背筋がピンとなる思いでした。投稿者の方が民宿経営と書いてありましたが、よくよく名前を読んでもみますと、私の高校時代の社会科の先生でした。いつまでたってもいろいろと教えてくださるのだなと思うことでした。ありがとうございます！M先生！

串小 プライド

宿泊学習～心をひとつに、学びを深めた2日

県立南薩少年自然の家で実施した5年生の宿泊学習では、仲間と協力し、自然と向き合いながら多くのことを学んだ2日間となりました。

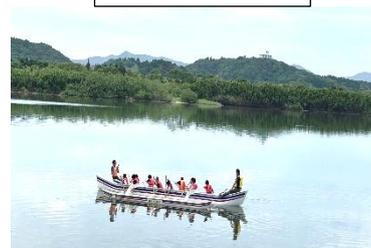
初日は、班で声をかけ合いながら地図を手に挑戦したフォトアドベンチャー。話し合いを重ねて目的地を目指す姿には、確かな成長が感じられました。2日目のカヌーは、かけ声と動きをそろえながら前進しました。万之瀬川の中ほどから見るいつもと違った景色、友だちとともに見た雄大な自然の景色は、きっと子供たちの心に残る宝物になったことだろうと思います。

また、時間を守ること、自分のことは自分ですること、どのような場面でもしっかり話を聞くことなど、基本的な生活面でも成長が見られ、集団行動中での自覚や責任感が高まっていく様子が見られました。

直接体験を通して、一人ひとりが「自分の力」と「仲間の大切さ」に気づく時間となったことと思います。この学びをこれからの学校生活や家庭での生活に、しっかり生かしていってくれることを期待しています。



カヌーを漕ぐ様子



万之瀬川でのカヌー体験の様子

歴史の学習～世界遺産がぐっと身近に、明治日本の産業革命遺産と串木野

6年生は、「かごしま探検の会」代表の東川隆太郎さんを講師に招き、「明治日本の産業革命遺産」について学習しました。この世界文化遺産には、いちき串木野市も深く関わっています。島津斉彬が反射炉を用いて大砲を作ろうとした背景や、串木野の技術者たちの活躍、羽島から出発した薩摩藩英国留学生の話など、地元とのつながりが数多く紹介されました。

子どもたちは「へ～!」「すごい!」と興味津々で聞き入り、楽しく郷土の歴史への学びを深めることができました。夏休みの調べ学習等への意欲も高まっており、今後の学習活動への広がりが楽しみです。

町のホットな話題～雨にも負けず、田植え体験

上名地区子ども会が毎年恒例の田植えを、実施しました。

開始後、間もなく雷雨のために中止となりましたが、子どもたちは手植えによる田植えを体験することができました。ぬかるみに足を取られながらも、楽しそうな笑い声があちこちで響いていました。その後は地域の方が機械で作業を進めてくださり、午前中のうちに田植えを終えることができました。天候に左右されず、確実に田植えの作業をやり遂げる地域の皆様の方に、あらためて敬意と感謝を抱きました。誠にありがとうございました。



田植え体験の様子

PTA リサイクル活動

第1回PTAリサイクル活動を実施しました。地域公民館の皆様や保護者の皆様のご協力により、多くの古誌や古新聞、アルミ缶、瓶などを回収することができました。

資源回収を通して、地域のつながりと環境への意識の高まりを感じました。ご協力、誠にありがとうございました。



アルミ缶回収の様子

7月行事予定

- 2(水) 学級PTA, 家庭教育学級
学校校保健委員会
- 12(土) 土曜授業
- 18(金) 1学期終業式
- 20(日) 串木野さのさ祭り市中流し
※希望者(各学年での参加)
- 23(水) 校内水泳記録会
※実施日変更の可能性あり